



1 | 瀬戸内のハーバービューを望むザ サウスハーバーリゾートでの結婚式 2 | ゲストハウスウェディング会場ルメルシェ元宇品。隣接するテラスおよびガーデンとの行き来がしやすく開放的で、自由な演出が可能だ 3 | ウェディングプロデュースを手掛けるShare Clappingの本部

FILE

05

婚礼プロデュース力を強化するため「株式会社かわの」を子会社化

当社のノウハウとプロデュース力 連動によるシナジー効果で競争力を強化

ホテル椿山荘東京を中心とした婚礼事業の強化を模索していた当社は、2015（平成27）年、市場でのお客さまの評価が高く、広島で婚礼プロデュース事業と2拠点のゲストハウスを有する「株式会社かわの」の全株式を取得し、グループ企業に迎えた。広島市は、中四国最大の都市であり、県外からの人口流入も多いため、同社が運営する施設は今後も安定した需要があると見込んでいた。2017（平成29）年、「株式会社かわの」は「株式会社Share Clapping」と商号を改めた。さらに同年、「株式会社Share Clapping Fukuoka」を設立し、北九州で2施設の運営を開始したがこちらは2021（令和3）年終了している。

「かわの」は1895（明治28）年に広島で寝具を扱う店として創業した老舗で、1995（平成7）年に「マリーエイド」を立ち上げてオリジナルウェディングを企



1995年オープン、株式会社かわの時代のマリーエイド。かわのは、「楽しいところには情報が集まる」を合い言葉に、お客さまとの良好な関係を築いてきた

画・実施するなど本格的に婚礼プロデュース事業に参入した。寝具を新調するタイミングは結婚などの人生の節目であることが多く、挙式に関する相談を受ける機会が多かったことがそのきっかけであった。利用者に寄り添い、それぞれの希望や想いを丁寧に聞き取ってその実現に向けて全力でサポートする姿勢、プロデュース力は、全国的なウェディング関連施設の満足度調査でも高い評価を得た。

TOPIC | 09

新郎新婦の大切なお客さまにも 心の込めたおもてなしをするために

Share Clappingのスタッフは、どのようなウェディングにしたいかの打ち合わせを重ねるだけでなく、どのようなお客さまが参加されるかについても可能な限りヒアリングをして式を迎える。時にそうした情報をもとに、好きな花や記念写真をプレゼントするといった“小さなサプライズ”を仕掛けるなど、思い出深い一日にするために心を尽くすのがShare Clappingの流儀だ。



Share Clappingでは、新郎新婦をはじめ、出席された全ての方々にとって思い出に残るウェディングにしたいと考えています。そのためには、誰にどのような想いを伝えたいか、どのような式にしたいかなど、できるだけたくさんのお話を聞くよう心掛けています。新郎新婦のごきょうだいや出席された方から次のご紹介をいただくことも多く、うれしく思います。

ザ サウスハーバーリゾート サブチーフ
木村理恵



子会社化は、当社グループが築いてきた婚礼の経験とブランド力に加え、ニーズを汲み取った企画力や個性豊かな婚礼を実現させる「かわの」のプロデュース力の相乗効果に期待してのものだった。

「Share Clapping」の強みの一つは、お客さま自身も気づかなかった潜在的なニーズを掘り起こし実現させることだ。そのためにはお客さまとの関係の深さが極めて重要で、まずは声をじっくりと聞くところから始める。どのような式にしたいのかを聞き取り、プランナーを含め、チームが一丸となってイメージを現実化させていく。お客さまの想いを共有していくその過程があつてこそ、関係が深まっていく。

要望やニーズは人それぞれであり、画一的な式や宴会とはならない。式場にお客さまが合わせるのではなく、お客さまに式場が合わせる。そこがプロデュース力であり、お客さまご自身の想いが反映されれば当然、顧客満足度も高くなる。

1日1組で旅館を貸し切り 自分たちだけの「滞在型ウェディング」

「Share Clapping」の目指すところは“唯一無二”のウェディングである。そこを念頭に置き、様々なウェディングスタイルを提案している。その一つが滞在型



1・2 | Share Clappingがプロデュースする「宮島結婚式」。世界文化遺産「厳島神社」にてともに新たな人生を歩むことを誓う 3 | Share Clappingが力を入れる「祝泊結婚式」。瀬戸内海を望む尾道の老舗旅館を貸し切って参列者をもてなす

ウェディング「祝泊結婚式」だ。1日1組で尾道の旅館を貸し切り、新郎新婦とともに参列者も旅館に宿泊していただくことで、特別な思い出となる日を過ごしていただく。オリジナルの仕掛けや工夫をする自由度も高い。

「Share Clapping」の強みであるお客さまとの関係の深さは、当社が長期ビジョンで掲げるお客さまの「ライフスタイルに寄り添う」とも一致している。2017（平成29）年に開店した「THIRD TERRACE」は誰もが立ち寄れるカフェでありながら、結婚式の魅力を伝える広報の場であり、過去に式を挙げたお客さまがまた帰ってくることで、ハブの役割も果たしてい

る。それは2022（令和4）年にオープンした写真スタジオ「Share Picture」も同様で、出産や七五三、成人式や還暦のお祝いなど、人生の節目でご利用いただくことで、お客さまとつながっていくことを目指している。

格式や充実した施設などホテルウェディングの優れた面に、「Share Clapping」が持つプロデュース力が加わることで、当社グループの婚礼事業は新たな一歩を踏み出した。

婚礼のマーケットは減少傾向にあるのは間違いないが、既成概念にとらわれない提案力によりお客さまの支持を獲得していく。



カフェ「THIRD TERRACE」。関連書籍が揃うほか、ワークショップが開催されるなど、ウェディングについての新たな発見に出会える